

「新指定・新登録」答申物件

《史跡名勝天然記念物の新指定》

【史跡】 6件

「飛驒国南部の領主三木氏が築いた山城。石垣が現存し、金森氏による破城の跡が残る」

1 松倉城跡【岐阜県高山市】

飛驒国南部の領主三木氏が松倉山（標高856.7m）の山頂に築いた山城。尾根上に堀切、山頂部に本丸、二ノ丸、三ノ丸を配する。本丸等中枢と二ノ丸南北の石垣構造の違いから2時期の造成が想定される。土造りから総石垣化、さらに金森氏による破城に至る変遷が判明する。



提供：高山市

「大宰府政庁の南東の丘陵上に立地する古代の土塁状遺構」

2 前畑遺跡【福岡県筑紫野市】

大宰府政庁の南東の丘陵上に立地する古代の土塁状遺構。古代大宰府を取り巻く水城跡、大野城跡等とともに要衝施設の一つとして有機的に連動し、自然地形を取り込む形で一体的に機能して大宰府の外郭線を構成している可能性が指摘されるなど、古代の外交窓口であった大宰府の構造を考える上で重要。



提供：筑紫野市

「元和4年（1618）に着工した簡素な平面プランと堅牢な防御空間で構成された近世城郭」

3 島原城跡【長崎県島原市】

有明海に面し、松倉重政により元和4年（1618）から7年間かけて築かれた近世城郭。長方形の外郭線内に、本丸、二ノ丸、三ノ丸を直線上に配置し、堀が囲う二ノ丸と本丸には枡形空間を並置する構造を持ち、島原・天草一揆勢を撃退した堅牢性を誇った城郭。



提供：島原市

「縄文時代早期から前期における九州と朝鮮半島との交流を示す遺跡として重要」

4 ^{こしたかいせき}越前遺跡【^{つしまし}長崎県対馬市】

縄文時代早期末から前期にかけての集落遺跡。対馬最古の遺跡で、九州と朝鮮半島の特徴を有する遺構・遺物が出土している。縄文文化と朝鮮半島の新石器文化の境界域における特徴を示す遺跡であり、我が国における縄文文化の多様性を具体的に示す遺跡として重要。



提供：対馬市

「大友義鎮が築き、退転後、石垣等が造営され砂州を三之丸として拡張された城郭」

5 ^{うすきじょうあと}臼杵城跡【^{うすきし}大分県臼杵市】

戦国時代、^{おおともよししげ}大友義鎮（^{そうりん}宗麟）により^{にうじま}丹生島に築かれた島城。大友氏退転後に入った太田氏により石垣、枡形、瓦葺建物等が造営され、砂州を三之丸として城域を拡張し、稲葉氏によって整備された。江戸時代に前代の構造を継承しつつ本丸と二之丸を替える等、城主の変遷とともに構造、空間構成が変遷した城郭として重要。



提供：臼杵市

「14世紀前半～中頃築造の最北端の大型琉球式グスク跡。南方社会の実態を知る上で重要」

6 ^{よろんじょうあと}与論城跡【^{おおしまぐん}鹿児島県大島郡^{よろんちやう}与論町】

14世紀前半～中頃築造の最北端の大型琉球式グスク跡。境界領域の城郭として、明、琉球、奄美、薩摩などによる東シナ海域の歴史的な状況の変化に連動し、築城され、変遷を遂げた城郭であったと言え、当時の南方社会の実態を知る上でも重要。



提供：与論町

【名勝】 1件

「近世以前から親しまれてきた湧泉の名勝地で^{だじょうかんふたつ}太政官布達に基づく初期の公園」

1 ^{のいけ}納池【^{たけだし}大分県竹田市】

久住高原の火山麓扇状地末端からの湧泉によって形成された景勝地で古くから知られ、^{だじょうかんふたつ}太政官布達に基づき初期に開設された公園の九州地方における事例として貴重で、日本公園史における学術上の価値が高く、湧泉に特徴付けられる風致景観は優れている。



提供：竹田市

《登録記念物の新登録》

【名勝地関係】 4件

「低山ながら東西南北に眺望が開けて奈良盆地や大阪平野などを広く眺める展望地点」

1 ^{みょうじんやま ひるめやま}明神山（送迎山）【^{きたかつらぎぐんおうじちょう}奈良県北葛城郡王寺町】

生駒・金剛山系の中でもひとときわ低い岳峰でありながら四方八周の眺望に開け、東の奈良盆地や西の大阪平野、南北の山並み^{いちぼう}を一眸のうちに収める眺望地点で、古代以来の地域における歴史文化の象徴を成すとともに現代にも広く親しまれている名所として意義深い。



提供：王寺町

「昭和初期に神戸の庭師・^{たつみたけのすけ}巽武之助によって造られたと伝わる、町家の庭園」

2 ^{まるいしえていん}丸井氏庭園【^{くらよしし}鳥取県倉吉市】

昭和初期に神戸の庭師・^{たつみたけのすけ}巽武之助によって造られたと伝わる、町家の庭園。南北に細長い敷地の北側に主屋と茶室、南側に離れと土蔵が建ち、その間に築山、園池などがある。離れからは北に向かって飛石が続き、庭門、築山、園池を経て、腰掛待合、茶室へと至る。



提供：倉吉市

「^{さらがみね}皿ヶ嶺斜面地に堆積した^{きよれき}巨礫の隙間から夏季の冷氣噴出で独特な風致景觀をなす名勝地」

3 ^{かみはやし}上林の風穴【^{かざあな}愛媛県^{とうおんし}東温市】

松山平野の東部南側にそびえる^{さらがみね}皿ヶ嶺の北斜面の^{かみはやし}上林地区に所在する名勝地で、岩塊堆積物の内部に溜まった空気により、夏季にはその周辺に冷氣が漂うとともに霧が白く発生して鬱蒼とした林床に^{こけむ}苔生した^{きよれき}巨礫の折り重なる様子と相俟って印象的な風致景觀を成す。



提供：東温市

「岩峰群中腹の洞穴とその入口に設けられた薬師堂などから成る名勝地」

4 ^{あないどかんのん}穴井戸観音【^{ぶんごたかだし}大分県豊後高田市】

^{くにさき}国東半島南西部の^{たしぶ}田染に所在し、^{たしぶまなか}田染真中と^{たしぶおさき}田染小崎の境に岩峰群を成す^{まどんいわ}間戸ン岩の^{たしぶ}田染^{まなか}真中側の北西部中腹において南東に口を開いた洞穴とその入口に設けられた薬師堂などから成る名勝地で、水にまつわる信仰地として崇められてきた。



提供：豊後高田市